

利根商高生徒が「株主総会」

# 文化祭 接客が鍵

10月に開催する文化祭「利根商モール」に向け、利根商業高(浜野雅樹校長)は10日、文化祭を運営する同名の模擬株式会社株主総会を開いた。全校生徒約480人が本年度の事業計画や予算を決めたほか、接客を練習した。

商業を実践的に学ぶため、同校は2009年に生徒と教職員が出資して株主となる模擬株式会社を設立した。各クラスから男女一人ずつ計28人が会社役員となり、文化祭を運営する。

総会で役員が前年度の売り上げや入場者数を報告。本年度重点目標として、①利根商生らしい服装・態度②仕入商品・数量の研究③接客マナーの向上を掲げた。接客の練習では、「いらっしゃいま

せ」「ありがとうございます」「お辞儀の角度を意識しながら練習した。文化祭は10月17日に一般公開され、生徒が地元企業から仕入れた商品の販売や模擬店に取り組む。役員は資材

の調達やチラシ、財務諸表を作成する。社長の藤原悠星君(3年)は「ことは新たに売り上げや装飾を競うコンテストを企画している。成功するように頑張りたい」と話した。



ことしの利根商モールの重点目標を決めた株主総会